

平成29年度

# 研究紀要

第31号

川崎市総合教育センター

## はじめに

本市におきましては、平成27年度から第2次川崎市教育振興基本計画「かわさき教育プラン」がスタートしました。平成29年度は第1次実施計画の最終年であり、各学校におきましてはキャリア在り方生き方教育をはじめ、様々な教育活動が推進されているところと存じます。また、平成29年度には小・中学校、特別支援学校小・中学部の新学習指導要領が告示されました。育成を目指す資質・能力を明らかにし、社会と連携及び協働してその実現を図る「社会に開かれた教育課程」の実現が求められています。

このような中、川崎市総合教育センターでは、皆様のご理解・ご協力のもと、各学校の教育活動のさらなる充実に向けた支援や、教職員の資質・授業力の向上、教育の情報化、特別支援教育や教育相談の相談体制確立などの役割を担ってまいりました。平成28年度には創立30周年を迎え、変化の激しい社会を生き抜く子どもたちの育成を目指し、実践研究主題を「未来を創り、社会を生き抜く資質・能力の育成」と設定しました。平成29年度もこの研究主題を引き継ぎ、「実践研究」に取り組むとともに、「調査・基礎研究」「各研究所等との共同研究」「施策研究」を進めてまいりました。

「実践研究」では、小学校外国語、キャリア在り方生き方教育、習熟の程度に応じたきめ細やかな指導、情報教育、特別支援教育の5つの研究会議に長期研究員を各1名、中学校のカウンセラー研究に研究員を1名配置するとともに、指導主事と研究員による研究会議を8つ設置し研究を進めてまいりました。また「調査・基礎研究」では、各室の指導主事が教育活動及び児童生徒に係る調査研究を進めてまいりました。

ここに、平成29年度に終結した各研究会議の研究内容を、研究紀要31号としてまとめることができました。この研究紀要が、これからの皆様のご授業等のさらなる充実や改善に少しでも役立つことができれば幸いです。また本研究に関して、ぜひ、忌憚のないご意見ならびにご指導をいただければ、なお幸いに存じます。

最後になりましたが、それぞれの研究に対しまして、ご指導ご助言いただきました川崎市総合教育センター専門員の方々をはじめ、お力添えいただきました全ての方々に厚く御礼申し上げます。

2018年（平成29年）3月

川崎市総合教育センター  
所長 小松典子

## 目 次

川崎市総合教育センターの研究の推進 P1

### カリキュラムセンター調査・基礎研究

「新学習指導要領に基づく授業改善の手立て」 P5

### キャリア在り方生き方教育研究会議

「子どもの実態から重点化した基礎的・汎用的能力の育成を目指して  
一人との関わり、学びのつながりを意識した授業改善を通して」 P13

### 外国語教育研究会議

「小学校外国語教育における文字に慣れ親しむ指導の工夫  
一音韻認識能力を高める活動を取り入れて」 P33

### 習熟の程度に応じたきめ細やかな指導研究会議

「習熟の程度に応じたきめ細やかな指導の捉え方に関する一考察  
一実感を伴って理解した知識及び技能を身に付けた子どもの育成」 P53

### 情報教育研究会議

「情報活用能力の育成における「チェックリスト」の活用に関する研究」 P73

### 特別支援教育研究会議

「自立活動と各教科等との関連を意識した授業づくり  
一自立と社会参加に向けた特別支援学級での児童生徒のかかわりを通して」 P93

### 国語科研究会議

「思いを豊かに表現し、書く楽しさを実感できる指導の工夫」 P113

## 理科研究会議

「主体的で深い学びにつながる導入の工夫」 P119

## 生活科・総合的な学習の時間研究会議

「子どもの概念形成を促す教師の支援に係る手立て—対話的な学びの在り方に着目して—」 P125

## 道徳研究会議

「『特別の教科 道徳』の評価に関する研究」 P131

## 技術・家庭科研究会議

「生徒が主体的に取り組める技術・家庭科の授業づくり  
—分かりやすい授業展開と教室環境の工夫—」 P137

## 学校教育相談研究会議

「魅力ある学校づくりに向けたミドルリーダーとしての働きかけ  
—教育相談的な視点を生かした組織力・チーム力の向上を目指して—」 P143

## 健康教育研究会議

「養護教諭が実践する食に関する指導  
—自らの体調と食との関わりに関心をもてるような指導方法の工夫—」 P149

## 高校教育研究会議

「新しい時代に求められる資質・能力を育成するための指導法について」 P155

## カウンセラー研究員による研究

「教育相談の在り方を探る—あらゆる教育活動の実践の中で生かす教育相談のために—」 P161